

ステロイド剤と副作用予防薬 について



兵庫県立尼崎総合医療センター
薬剤部 中塚桃子

本日の内容

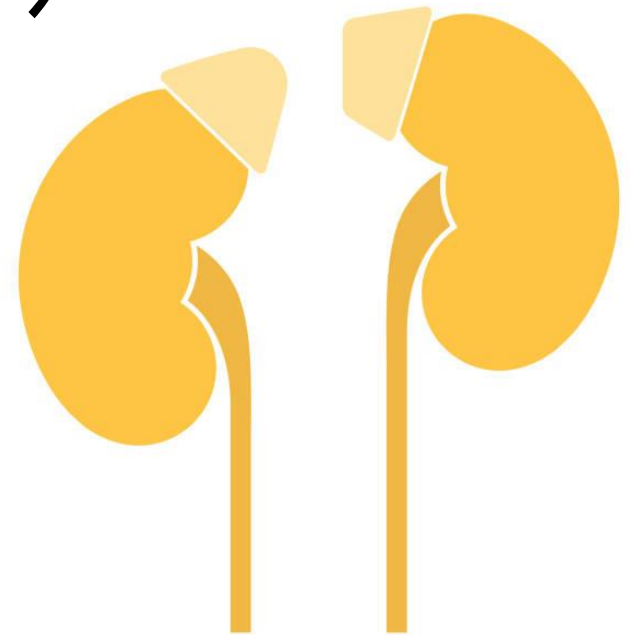
血管炎の治療薬

- 1 ステロイド剤
- 2 ステロイドの副作用予防薬
- 3 薬の疑問いろいろ

血管炎の治療薬

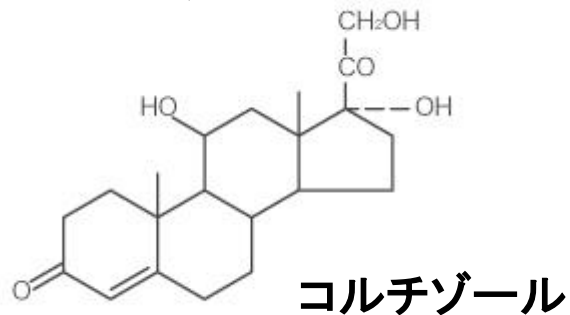
- 血管炎には免疫機能の異常が大きく関わっており、免疫機能の異常な活性化を抑える作用のあるお薬を用いて症状をおさえます
- 治療薬
 - ステロイド剤 免疫抑制剤 生物学的製剤（抗体製剤）
 - 選択的C5a受容体拮抗薬

1 ステロイド剤 (副腎皮質ステロイド)



ステロイド剤（副腎皮質ステロイド）

- 腎臓の上部にある副腎皮質という臓器で作られるホルモンです
- ステロイドホルモンにはいくつかの種類がありますが、そのうちの1つであるコルチゾール（糖質コルチコイド）という成分と同じ作用を持つものを、現在のステロイド剤として使っています



副腎皮質で作られるホルモン

男性ホルモン

鉱質コルチコイド

糖質コルチコイド

ステロイドの働き

- 炎症抑制作用
- 抗炎症、抗アレルギー作用
- 胃酸分泌促進作用
- 糖代謝：糖新生促進（血糖上昇）
- アミノ酸代謝：異化作用（筋力低下、皮膚委縮）
- 脂質代謝異常（コレステロール上昇）
- カルシウム吸収低下、カルシウム排泄促進
- 中枢神経作用
- 鉱質コルチコイド作用（塩分貯留、高血圧、むくみ）

ステロイド剤（飲み薬）の種類

一般名	商品名	1錠量	作用時間
ヒドロコルチゾン	コートリル®	10mg	短時間型
プレドニゾン	プレドニン®	5mg	中間型
メチルプレドニゾン	メドロール®	4mg	中間型
デキサメタゾン	デカドロン®	0.5mg	長時間型
ベタメタゾン	リンデロン®	0.5mg	長時間型

※1錠が1日の体内分泌量と同程度の量になるように作られています



服用上の注意

- ①自己判断で中止しない(突然やめない)
- ②飲む量、飲む時間を守る

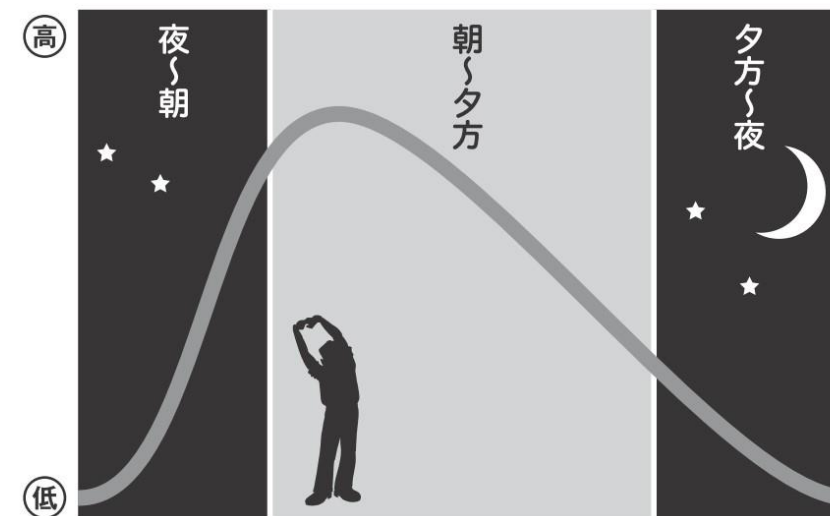
ステロイド剤の飲みかた

- 初期に必要な十分な量を服用する
- 経過を観察しながらゆっくり減量していく
- 朝に飲む量が多い



内因性ステロイドの日内変動

- 昼間活動し、夜間眠る人のステロイドホルモンは午前中に多く分泌され、午後は減少します



- 生理的な内因性ステロイドの産生・分泌の日内変動にできるだけ近づくように、ステロイド剤を投与しています

自己判断で中止しない

- ステロイドを内服している状態では副腎機能が低下・停止しており、体内のステロイドホルモンの産生が低下する
- 急に薬をやめるとステロイドホルモン不足となる

副腎不全症状

全身倦怠感、血圧低下、発熱、関節痛



投与量、投与期間、減らし方については
個人差があります
必ず医師の指示どおりに服用してください

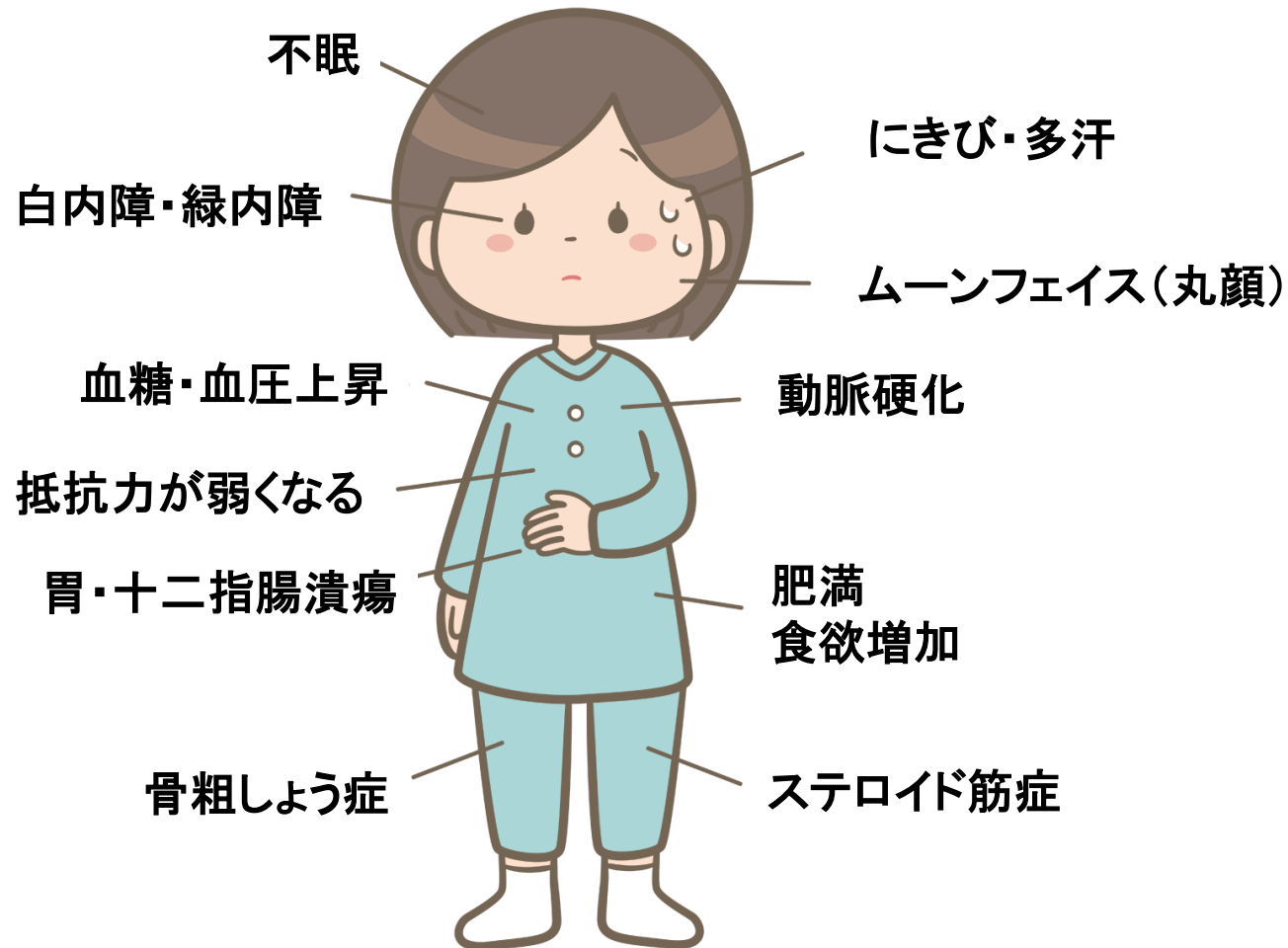
服用上の注意

③他の病院や歯科医院等にかかる時は
このお薬を服用していることを医師
または歯科医師にお伝えください

お薬手帳を持参しましょう



ステロイドの副作用



ステロイドの副作用 発現時期

数時間から	数日から	1～2ヶ月	3ヶ月以上
血糖上昇			
不整脈			
	血圧上昇		
	不眠、精神症状		
	むくみ・電解質異常		
		感染症	
		消化性潰瘍	
		骨粗しょう症	
		コレステロール上昇	
		ムーンフェイス	
		ステロイド筋症	
		緑内障	
			二次性副腎不全
			動脈硬化

2 ステロイドの副作用予防薬



ステロイドの副作用 対策

抵抗力が弱くなる

- 感染対策として手洗い、うがい、マスク着用や口内を清潔に保つことを心がける
- 飲む量が多い場合は感染予防の薬を使用する場合があります

肺炎予防・・・バクタ®、サムチレール®、ベナンバックス®

バクタ®：決まった曜日に内服する場合もある

皮疹が出る、肝機能・腎機能が悪くなるようであれば
他薬へ変更

帯状疱疹予防・・・シングリックス筋注用®（自費）

ステロイドの副作用 対策

胃・十二指腸潰瘍

- 暴飲暴食を避ける
- むかつき、胃の痛み、食欲低下等の症状があれば申し出て下さい
- 予防薬として胃酸の分泌を抑える薬を飲む場合があります

ランソプラゾール(タケプロン®)
ファモチジン(ガスター®) など



ステロイドの副作用 対策

骨粗しょう症

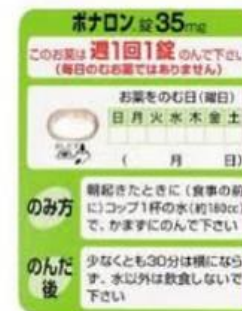
- ・予防薬として骨が壊れるのを防ぐ薬や骨形成を促す薬を使用する場合があります

ボナロン[®]、ベネット[®]、リカルボン[®]

プラリア皮下注[®]

フォルテオ皮下注[®]、テリボン皮下注オートインジェクター[®]

- ・内服薬、注射薬、自己注射など様々な投与方法があります
- ・内服薬は決まった曜日または毎月の決まった日にちに起きてすぐ飲むといった注意が必要です



ステロイドの副作用 対策

不眠

- 症状がひどい場合は医師に相談してください
- 睡眠薬が処方されることがあります

血糖上昇、血圧上昇、コレステロール上昇

- 検査（採血等）でチェックします
- 数値が高い場合は下げる薬が処方されることがあります

ステロイドの副作用 対策

白内障、緑内障

- 目のかすみ、視力低下、眼痛など目の異常が現れた場合は医師に申し出てください

ムーンフェイス（丸顔）

- 顔に脂肪がついて、丸くなります
- ステロイド剤を減量すれば回復します
- ステロイド剤により食欲が亢進し、単純に太ることもあるので、カロリーの高い間食は避けてください

3 くすりの疑問いろいろ



薬の量が多くて飲み忘れてしまう

- 朝食後、夕食後などの用法ごとに複数の薬を1袋にまとめる「一包化」ができます
- 別々の病院で処方された薬もまとめることができる場合があります
- お薬の性質によっては一包化できない場合もあります
- お薬を調剤するのに時間がかかります
- 医師または薬局の薬剤師にご相談ください
- 服薬カレンダーや服薬ケースなどもご活用ください



錠剤が飲みにくいので砕いてもいいですか？

- 砕いて飲んでも効果の変わらないものと、砕くと効果が変わってしまうものがあります
- 有効成分が胃ではなく腸で溶けるようにコーティングされているお薬もあるため、砕いてしまうと効果を発揮できなくなる場合があります
- 砕くことで口腔咽頭刺激作用が強くなるお薬もあります



飲みにくい場合は同じ成分の別の粉薬や、口の中で溶けるタイプのお薬を選択できる場合もありますのでご相談ください



薬の飲み合わせってあるの？

- 組み合わせによって効き目が弱くなったり、逆に効きすぎたりすることがあります
- 薬と食べ物、飲み物との組み合わせにも相性があります
 - ★プログراف®やネオオーラル®のような免疫抑制剤とグレープフルーツジュース
 - ★ボナロン®と牛乳、硬水 など

お薬手帳には他の病院で出された薬の情報などが載っていて、処方されたお薬との飲み合わせを薬剤師がチェックしています

病院や薬局に行くときには忘れず持参してください



正しく飲んでこそ

- 副作用とうまく付き合って、決められた量を決められた期間服用することが大切です
- 何か不安や疑問を感じた場合には、一人で調べて考え込んだり薬を止めたりするのではなく、相談してください

ご清聴ありがとうございました

